

平和学研究科入学試験の変更について

大学院平和学研究科博士前期課程外国人留学生特別入試を以下のとおり変更します。
なお、詳細については、本学ウェブサイトで公表する学生募集要項を必ず確認してください。

1 入試変更の対象時期

2027年4月入学の試験から

2 変更内容

- (1) 試験科目としている「書類審査」にオンラインによる「面接」を加え、評価方法を変更します。
この変更により、受験者を多面的・総合的に評価し、合格者を決定します。

<変更前>

① 学力検査の内容等

試験科目	学力検査等の内容	評価方法
書類審査	日本語または英語能力の検定試験結果および研究計画書、推薦書等の提出書類を審査します。	研究意欲や研究能力を3段階で評価します。

※ 必要に応じてオンライン面談を実施することがあります。この場合、日時は受験者と調整します。ただし、評価の対象ではありません。

② 合否判定

書類審査の成績により、合格者を決定します。



<変更後>

① 学力検査等の内容および評価方法

試験科目	学力検査等の内容	評価方法
書類審査 および面接	【書類審査】日本語または英語能力の検定試験結果、研究計画書、志望理由書等の提出書類を審査します。 【面接】出願書類をもとに、志望動機、研究計画等を問います。(30分程度)	アドミッション・ポリシーに基づいて、平和学研究科における講義の受講や修了要件を満たすために必要な知識・能力、研究意欲、学修意欲、適性等を3段階で総合的に評価します。

※ 面接は原則として日本語で行います(専攻分野によっては英語で行うことがあります)。

② 合否判定

書類審査および面接を総合的に評価し、合格者を決定します。

- (2) 出願書類として必須としていた推薦書を、任意提出に変更します。

3 試験期日等(2027年4月入学対象)

(1) 出願期間

2026年10月23日(金)～11月5日(木) 17:00まで(日本時間)

(2) 面接試験の実施日程

2026年11月30日(月)～12月4日(金)

※ 実施日程の期間内で志願者と調整のうえ、面接試験の日程を決定します。